JMA マネジメントスクール

オンライン

ヒューマンエラーに強い職場づくり

ヒューマンエラー防止研修

・「記憶」「認知」「判断」「行動」「記憶」…、といった人の情報処理システムを切り口とし、
・人がヒューマンエラーを起こすメカニズムからみた作業のやりにくさ、エラーを誘発する要因を抽出し、
・要因を排除・緩和するなど適切な対策・改善・マネジメントを行う

開催日時 2026年12月21日(月)～22日(火) オンライン 2日間とも 10:00～17:00

対　象 ヒューマンエラー問題に困っている • 担当者の方 • 管理・監督者の方 • 経営幹部の方

講　師 大西 弘倫 氏
ヒューマンエラーラボ 代表

参加料(税込) 法人会員：104,500円/1名
会 員 外：115,500円/1名
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
https://www.jma.or.jp/membership/
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ね ら い

みなさまが実施されているヒューマンエラー対策活動は再発防止型が中心ではないでしょうか。再発防止型では、何か問題が発生してからしか活動が展開出来ず、モグラ叩き的な活動になりがちです。

これからは、現状で**作業・業務をやりにくくしている阻害要因をすべて抽出し、それを排除・緩和していこうという未然防止型の改善アプローチ**に変えていくべきです。

ヒューマンエラーの対策力向上には、**いろいろな角度から網羅的に検討することが重要**です。本研修では、再発防止のための考え方はもちろんのこと、未然防止型の活動を展開するための考え方、手法を学び、ヒューマンエラーに強い職場づくりを目指します。

演習を主体とした「体感」「体得」に力点を置いたカリキュラムです。検討・発表・質疑応答などさまざまな場面で、気づきを促すしかけとなっております。

本セミナーで学べること

- ☑ 人の情報処理システム
- ☑ ヒューマンエラー発生のメカニズム
- ☑ エラーを誘発する要因とその抽出視点
- ☑ エラーを取り巻く構造からみた対策立案視点

参加者の声

- ヒューマンエラーのタイプによって分類でき、そこから傾向が見えてくることがよく理解できました。
- 演習が多くあり理解が深まりました。色々な業種の方の発想・意見は大変参考となり、有用なものでした。
- ヒューマンエラー要因をカテゴリー別に検討することに対し、とても興味深く取り組むことができました。
- もう一日多く学びたいほど濃い内容でした。丁寧にアドバイスいただき、ありがとうございました。

■ プログラム

2日間 10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

1日目：ヒューマンエラーへの理解、エラー要因抽出力の向上

◆ オリエンテーション

1 ヒューマンエラーの基礎知識

2 人の情報処理システムからみたヒューマンエラー発生
- メカニズムとエラー要因の抽出

3 ヒューマンエラーリスクマップ作成 演習
ねらい
- 各工程・業務におけるヒューマンエラー傾向を見える化する
- 発生傾向をみて、改善の重点対象を設定する
- 発生例はないが、発生可能性のあるエラーリスクを想定する（水平展開・未然防止）

4 ヒューマンエラー要因の抽出 演習

2日目：改善の基本ステップを一通り実践できるようになる

◆ 1日目の振り返り

5 現状分析（時系列分析） 演習
ねらい
- ヒューマンエラー、不具合に至るまでの経緯が第三者でもわかるよう、時系列、視覚的に整理する
- 「誰が」「いつ」「何を」「どうした」を明確にする

6 ヒューマンエラー要因の抽出 演習

7 対策の立案 演習

8 今後に向けて

◆参加者特典：
ヒューマンエラー要因抽出チェックリスト



※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

JMA 経営革新を推進する 一般社団法人日本能率協会

申込・セミナー詳細は JMA100387 検索